

平成 26 年 4 月 21 日

Java の自動アップデートで認証キーが使えない場合の対処法について

Java を最新バージョンにアップデートするとセキュリティ機能が強化された関係で、サンデックスの認証アプリケーションがブロックされるようになります。

万が一アップデートしてしまった場合は、Java のコントロールパネルの設定でセキュリティレベルを「中」に設定する必要があります。以下に手順で設定をお願いします。

1. スタート → 設定 → コントロールパネル を表示
2. コントロールパネル中の Java アイコンをクリックする。表示方法がカテゴリになっていると Java アイコンは未表示なので「大きいアイコン」を選択してからクリックする
3. Java コントロールパネルが表示されるので、セキュリティのタブを選択して、セキュリティレベルを「中」に設定し、「適用」ボタンを押す。(図 1)

※ セキュリティレベルのスライダーが灰色表示で操作できない場合は、詳細タブを選択し、Java Plug-in の項目部分の

次世代の Java Plug-in を有効にする (ブラウザの再起動が必要)

にチェックを入れて適用ボタンを押してから、セキュリティレベルを再設定すること。(図 2)

図 1. セキュリティレベル設定を中にする

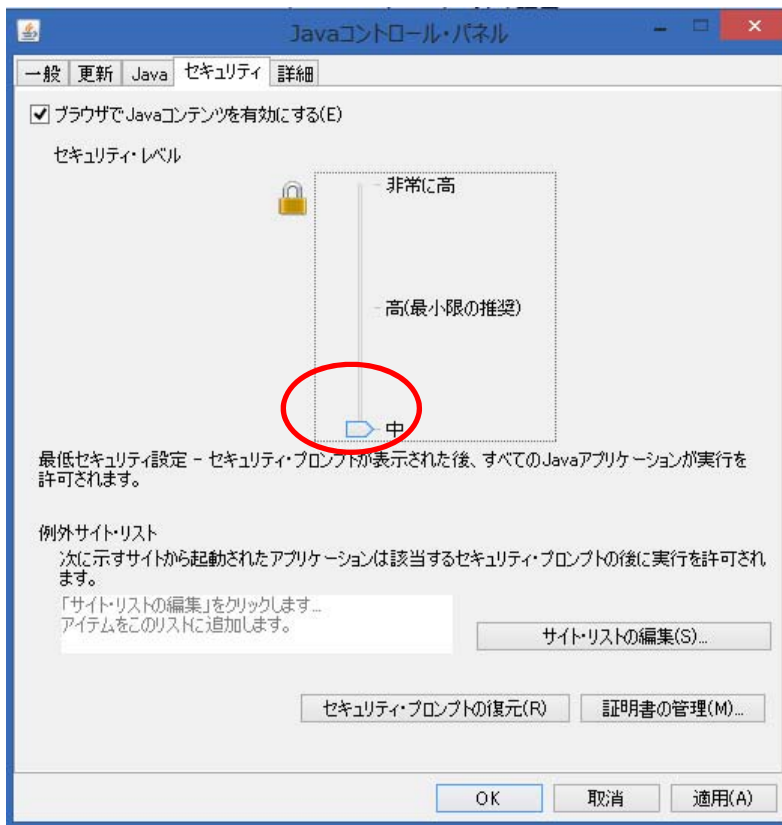


図 2. 次世代の Java Plug-In を有効にする (セキュリティレベルの変更ができない場合のみ)

